

平成31年 月 日

京都市長 門川 大作 様

公明党 京都府本部 下京支部

京都市に(仮称)認知症総合支援センターの開設を求める要望書(趣旨)

世界に類例を見ないスピードで高齢化が進む我が国において、認知症の人は年々増え続けています。認知症は、今や誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、認知症施策の推進は極めて重要です。しかし、認知症の方への支援は、医療、介護から各種手続きにいたるまで多岐にわたるうえ、認知症診断直後は、相談できる人がいないといったケースがあります。そこで、認知症に関連する総合的な相談・手続き、医療から介護まで、一人ひとりの状態に応じた適時・適切なサービスをワンストップで提供できる施設の開設が望まれます。認知症の初期から重度まで、馴染みの場所で、馴染みのスタッフから継続した支援を受けられることで、大きな安心につながります。ついては、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、京都市においても、下記のとおり(仮称)認知症総合センターを開設いただきますよう要望します。

記

1. 認知症を総合的に支援する(仮称)認知症総合支援センター(以下「総合センター」といいます。)を開設してください。
2. 総合センターは医療・介護・手続き等をワンストップで行える施設としてください。
3. 総合センターでは認知症の方に対する総合的な相談窓口を開設してください。

【(仮称)認知症総合支援センター】を 京都市に開設を求める署名

京都市長 門川大作 様

要望項目

1. 認知症を総合的に支援する(仮称)認知症総合支援センターを開設してください。
2. 総合センターは医療・介護・手続き等をワンストップで行える施設としてください。
3. 総合センターでは認知症の方に対する総合的な相談窓口を開設してください。

ご芳名	ご住所(同上は不可)
	区
	区
	区
	区
	区

※署名は自筆にてご記入ください。住所の「同上」は無効となります。

※ご記入いただいた署名は要望書への添付以外の用途には一切使用いたしません。